

[TOP page](#)
[資料室](#)
[イベント情報](#)
[講師を探す](#)
[Worker's 広場](#)
[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | 成果をあげるために身につけておくべき5つの習慣的能力

[労働組合](#)
[労働者福祉・共済](#)
[一般教養](#)
[社会保障](#)
[労使トラブル法律相談Q&A](#)
[労働関係法](#)
[経営全般](#)
[人間関係とコミュニケーション](#)
[ライフプラン](#)
[男女共同参画](#)
[公務員関係法](#)
[日朝の歴史](#)
[7つの習慣](#)
[中東の歴史](#)
[ボランティア活動](#)
[環境活動](#)
[社会貢献活動](#)
[自己啓発](#)
[生涯学習](#)
[外交・防衛問題](#)
[資本論](#)

成果をあげるために身につけておくべき5つの習慣的能力

1. 何に、自分の時間がとられているかを知ることである。
残されたわずかな時間を体系的に管理することである。
2. 外の世界に対する貢献に焦点を合わせることである。
仕事ではなく成果に精力を向けることである。
「期待されている成果は何か」からスタートすることである。
3. 強みを基盤にすることである。
自らの強み、上司・同僚・部下の強みの上に築くことである。
それぞれの状況下における強みを中心に据えなければならない。
弱みを基盤にしてはならない。すなわちできないことからスタートしてはならない。
4. 優れた仕事が際立った成果をあげる領域に力を集中することである。
優先順位を決め、それを守るよう自らを強制することである。
最初に行うべきことを行うことである。
二番手に回したことはまったく行ってはならない。
さもなければ何事もなすことはできない。
5. 成果をあげるよう意思決定を行うことである。
決定とはつまるところ手順の問題である。
そして成果をあげる決定は、合意ではなく異なる見解に基づいて行わなければならない。
もちろん数多くの決定を手早く行うことは間違いである。
必要なものはごくわずかの基本的な意思決定である。
あれこれの戦術ではなく一つの正しい戦略である。

(P・F・ドラッカー著 「経営者の条件」)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

[教育カリキュラム](#)

[日本国憲法](#)

[傾聴](#)

[語り部スキル](#)

[▶ キーワード検索はこちら](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.